

～ 県政知事懇談「湯崎英彦の宝さがし」～

知事メッセージ



私は、「県民起点」と「現場主義」を実践するため、
県民の皆さんと直接対話する県政知事懇談
「湯崎英彦の宝さがし」に行ってきました。

この「宝さがし」を通じて、自然や産業などの優れた地域資源
はもとより、郷土愛と情熱を持って、前向きに頑張っておられる
多くの人財がまさに本県の「宝」とであると実感したところです。

皆さんからいただいたご意見は、今後の県政運営に反映させて
いきます。

県としては、県民の皆さんとともに、
『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える
広島県づくりに、取り組んで参ります。

「宝さがし」とは

湯崎知事が、県内23市町を順次訪問。県民の皆さんの
活動現場の視察や、様々な分野で活動されている方々と意見
交換を行うものです。

◆ 実施状況（第1～23回 まで）

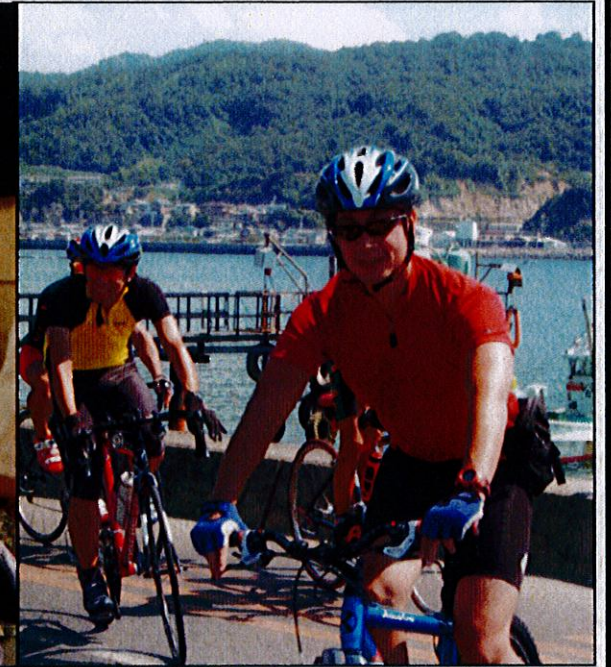
内容等	箇所・人数
活動現場の視察箇所数	77箇所
意見交換会への参加者数 ※ 23市町 × 10名程度	237人
傍聴者数	約1,420人

「宝さがし」の一日(例)

◆ 【午前】 現場視察

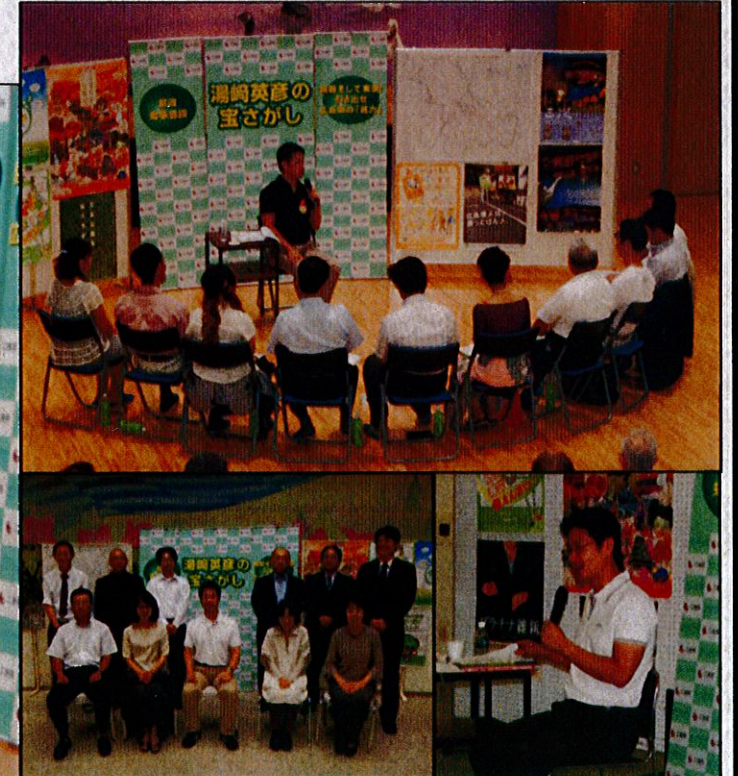


視察先では、率先して活動の輪の中に入ります。
(海田町「子育て支援サークル くすくす」にて)



時には、自転車で視察先を移動します...
(江田島市にて)

◆ 【午後】 意見交換会



意見交換会では、参加者の皆さんの地域づくりなどへの熱い思いをお聞きします。